

ち てきしょうがい かた ～知的障害のある方～

災害はいつ起こるかわかりません。災害発生時には、障害のある方の多くは正確な情報収集や自力での避難が困難なため、大きな被害を受ける可能性が高くなる
ことが想定されます。

日ごろの備えを十分に行うことは、「自分の命は自分で守る」という観点からとても大切なことです。

1. 避難する時の持ち物

◎いつも飲んでいる薬

◎障害者手帳やお薬手帳・薬の説明が書いてある紙

◎いつも使っていて、あると落ち着くことができるもの（おもちゃ、本、携帯音楽プレイヤー、ゲーム）など



2. 普段からの備え

◎学校、職場、施設など出先で災害にあったらどうするか、決まりを教えてください。

◎できる範囲で、周りの人に障害があることを知ってもらいましょう。

◎避難訓練などに参加して、避難する時の道や避難する場所を覚えておきましょう。

◎家族や支援をしてくれる人たちと話し合っ、災害が起きた時にどうするか決めておきましょう。

3. 災害が起きたら

◎あわてて、急に走ったり、外に飛び出したりしないようにしましょう。

◎家族や支援してくれる人たちと決めたことを守るようにしましょう。

◎わからないことがあったら、周囲の人に助けてもらいましょう。